

インフラメンテナンス国民会議 近畿本部フォーラム 実証実験 実施結果

開催概要

日 時	令和3年12月3日(金) 13:30~17:00
場 所	大阪府高槻市桃園町地先(高槻市水道部内)
参 加 者	施設管理者: 5名(大阪府高槻市) 実験実施者: 1名(サンユレック(株)) 事務局: 5名(国土政策研究会) 国土交通省: 3名(近畿地方整備局) メンター: 1名(近畿情報ワーキング長) 出席者合計15名
[施設管理者] ニーズ	[施設管理者: 大阪府高槻市] 求める技術: 洗掘防止に特化したライニング等の技術
[実験実施者] シーズ技術	・サンユレック(株) 「流入水によるマンホール内壁面の摩耗を防止するための防護材技術」

※新型コロナウイルス対策のため、施設管理者・実証実験実施者・事務局のみで実証実験を実施。

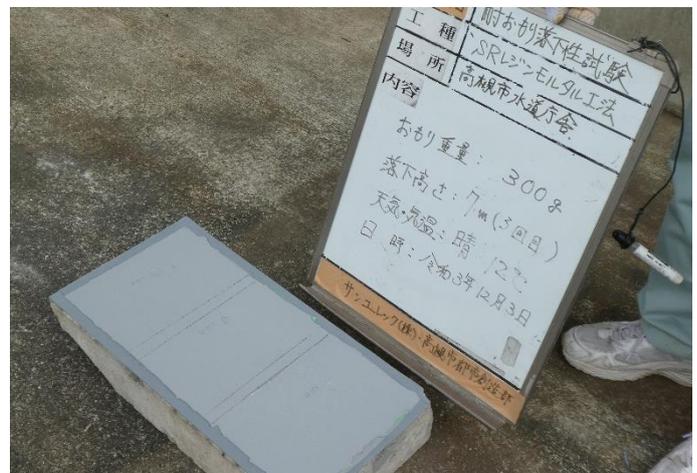
実証実験の概要

[サンユレック(株)]

流入水によるマンホール内壁面の摩耗を防止するための防護材技術

(SR レジンモルタルを用いた耐おもり落下性試験の実験)

- マンホールへの流入水には砂レキ等が含まれているため、高い位置からの落下によりマンホールの壁面コンクリートが破壊される可能性がある。
- そのため、被膜に厚みがある防食被覆工法のSR レジンモルタルを用いて、実証実験を行った。
- 3m、5m、7m、の高さからおもりを落下させ、防食被覆層の状態(割れ、剥離等)を確認した。
- また、SR レジンモルタルの製作デモを行った。



実証実験状況



【施設管理者 講評：高槻市】

- ・本実験については、SR レジンモルタルをマンホールの防護材として使用する際に、耐摩耗性に加え、流入水に含まれる砂レキ等の衝撃に耐えうるかを確認するために行いました。
- ・今回の実験は、建物の高さで制限されているため 7m までの落下試験となりましたが、供試体の状況から、さらに高い位置からの落下にも十分耐えられるものと考えられます。
- ・実際想定している最大の砂レキは今回使用したおもりの重量より重いため、詳細は別途検討する必要があるものの、SR レジンモルタルは砂レキ等の落下に対して、一定の耐衝撃性を有しているものと期待できます。
- ・耐摩耗性の確認については、流入水にさらした状態での経過を確認する必要があるため、改めて実証実験を行いたいと考えています。
- ・本日はありがとうございました。



【近畿情報ワーキング長：関西大学 坂野 昌弘 教授の総評】



- ・インフラ整備については、今後、点検結果を踏まえた長寿命化対策が主体となっていく。
- ・今回の実験では、非常に良い結果が得られた。
- ・引き続き、耐摩耗性や耐久性について実証実験を続けていただきたい。
- ・管理者のニーズ、シーズ技術をうまくマッチングしていくことで管理者・実施者・利用者の三方良しとなるよう調整を行っていきたい。
- ・貴重なフィールドや技術を提供いただき、有意義な実証実験となった。今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。